

天理時報

TENRI
JIHO

発行所
天理教道友社

〒632-8686 奈良県天理市三島町1番地1
電話 (0743) 63-3726
郵便振替口座00900-7-10367番

〔本紙定価〕：1部60円 1年(送料共)：4,560円
半年(送料共)：2,280円



今号電子版は
ココから!

立教184年
令和3年/2021年

4月11日

- 台湾伝道庁で独自に「後継者研修会Ⅱ」…………… 2面
- 天理大ラグビー部「優勝記念展示会」…………… 3面
- ヒューマン・スペシャル「布団職人がつくる笑顔」…………… 4・5面
- 修養科の四季 天理高バトン部OG・コーチ師弟でV…………… 6・7面
- 懸賞エッセー 新連載「手嶋龍一のグローバルアイ」…………… 8面

今こそお道の人らしい実動を



新型コロナウイルス感染拡大の終息を祈念し、大亮様を忘れないとつとめが勤められた (1日、本部神殿で)

本部神殿でお願いごとめ 新型コロナウイルスの終息を祈念

新型コロナウイルスの感染拡大が国内外で続く現状に鑑み、教会本部は1日、本部神殿でお願いごとめを勤めた。

昨年3月以来およそ1年ぶりとなるお願いごとめは、感染拡大の終息と罹患者の平癒をあらためて願うとともに、お互いの心を一つに合せてご守護を頂く意味を確認するもの。殿内の参拝者数を制限するとともに、中庭と南礼拝場前にパイプイスが設置された。

当日は、本部関係者もとり、親里在住者や修養科生らが参集。互いに間隔を空けて参拝するようアナウンスが流れるなか、本部在籍者が誘導に当たった。

正午、中山大亮様は、宮森与一郎・内統領と共に神殿上段へ参進。大亮様が拍子木を、宮森内統領が数取りを務めて、お願いごとめが勤められた。

この後、大亮様は、教祖殿、祖霊殿で参拝された。一方、参拝者はその場から教祖、祖霊様に向かって礼拝した。

◇

おつとめに先立ち、宮森内統領があいさつを行った。宮森内統領は、新型コロナウイルスへの対処の仕方を暗中模索してきた昨年来

の歩みを振り返ったうえで、お道を信仰する者にとって、心定めと神一条の態度が大切であると強調。「人を救う心は真の誠」とお教えくださるのだから、今こそおたすけにつながる動きを、お道の人らしい実動を、皆がこぞつとめを定めたとして、「教祖がお通りくださったたすけ一条のひながたの道を、いまの自分はどうすれば踏み行えるのかをしっかりと思索し、心を定めて実行していこう。それぞれに親神様から託されたおたすけがあるはず。何からでも始めていこう」と呼びかけた。

最後に宮森内統領は「まずは自分自身の実動の心定めである。そのうえで、案じるとか疑うなどのわが身思索の心をすっきり捨て、ご守護を願いたい」と述べた。

◇

なお、新型コロナウイルスの終息を祈念するお願いごとめは原則、毎月1日正午から本部神殿で勤められる。期間は年内の予定。

お願いごとめの様子を、下記QRコードから動画で視聴できます



「後継者研修会Ⅱ」独自に

台湾伝道庁（梶井幸治庁長）は、昨年2月から今年3月にかけて「後継者研修会Ⅱ in Taiwan」を4回に分けて開催、計146人が受講した。これは4年前、親里での「後継者講習会」に準じる形で開かれた「後継者研修会（海外部主催）」が好評を博したことで、受講者から「再度、研修会を開いてほしい」との提案を受けて独自に企画したもの。

台湾伝道庁

今回は17歳から50歳までの道の後継者を対象に、普段の生活の中で周って一時開催を見送ったものの、市里の人とたすけ合い、陽気ぐらしを中感染の広がりが収まった時期を見実践していくことを目的に実施。日計らって再開。先ごろ、全4回の日帰りのプログラムで、教会長による程を終えた。



台湾の道の後継者たちは、日常生活における信仰実践のあり方について語り合った（3月14日、嘉義市の東門台湾伝道所）

受講者からは「かしの・かりもって自分の過去を顧みる機会が得られた。身近なところで小さい行動から始めて、思いやりの心を社会へ広めていくことが、平和な社会や世界につながるのだと分かった」「ねりあいの時間を持つことで、ほかの受講者の意見や考え方を知ることができて、とても勉強になった。感謝の心を忘れず、ひのきしん、おたすけを実践していきたい」などの感想が聞かれた。

梶井庁長（68歳）は、「教理勉強会や、おてふり・鳴物勉強会を開催してほしい」との声も挙がっている。今後も、道の後継者が信仰実践に励み、少しでも成人できるような機会を用意していきたい」と語った。

オンラインで心をつなぎ

立教184年「春の学生おぢばがえり」



立教184年「春の学生おぢばがえり」（主催：同実行委員会、学生担当委員会）は3月28日、新型コロナウイルス感染拡大の現状に鑑み

てオンライン形式で開催。メインプログラムの式典と春まつりは趣向を変え、「道の学生オンラインの集い」として、YouTube上に動画を公開した。

当日、午前10時半にYouTubeに動画が公開された。動画では、春の学生おぢばがえり実行委員会による「春まつり」に続いて、実行委員長の前川知子さん（天理大学4年）があいさつ。「今回の節を通じて、おぢば帰りができるありがたさ、おぢばは尊い場所であるということ、あらためて教えられたことに、無事に迎えられたことに、感謝の気持ちでいっぱい」と話した。

式典では、吉川万寿彦・本部長が登壇。「この1年間の苦労は、皆さんしか味わえない貴重な体験」だとして、「節を自分の成人に生かすことは難しいが、だからこそ、親神様・教祖にご相談することが大切。いまはなかなかおぢば帰りはできないが、おぢばの出張

全国各地の学生たちは、それぞれの場所から動画を視聴。「道の学生オンラインの集い」を通じて、道の仲間と心をつなぎ、さらなる成人の一步を踏み出すことを誓った（3月28日、中河詰所）

り場所”である教会に参拝し、4月から始まる新たなステージへ、勇み、喜んで突き進んでもらいたい」と呼びかけた。

全国各地の学生たちは、自宅などで動画を視聴。その後もオンライン形式などで、式典の振り返りや団体アワの時間が設けられ、道の仲間と心をつなぎ、さらなる成人を目指すことを誓った。

また、今年は2月1日から3月25日までを「道の学生おぢばがえり推進期間」として、個人や少人数でのおぢば帰りを促した。期間中の帰参者数は525人を数えた（3月27日時点）。

なお、「道の学生オンラインの集い」の動画は、「Web Happist」のホームページから視聴可能。下記QRコードからアクセスできる。



別席取次人

田中勇文
立教184年4月2日お許しを頂かれました。

内統領室

おやのこば

しんぢつにたすけ一ちよの心なら
なにゆへいでもしかとうけとる

（おふでまき三号38）

おやのこころ

2歳半の二男が言葉を覚え始めたころ、こんなことがありました。しきりに「ねんね、ねんね」と言うので、妻が寝室へ連れていこうとすると、本人は「違う」といった表情で冷蔵庫を指さします。どうも「牛乳が飲みたい」と言いたかったようです。

さらに面白いことには、こちらが牛乳パックを持って「ねんね」と言っても、キョトンとするばかりなのです。考えてみれば当然です。あくまで本人は「ぎゅうにゅう」と発音しているつもりなのです。



教祖の口や筆を通して
教えを伝え、また子供
可愛い親心から、折に
ふれてさまざまに形
メッセージを下さいます。

私たちは、それら聞き分け、身に付けているつもりでも、いざ行動に移したり、人に伝えたりする際に人間思考が混じり、結果的に神様の思いから離れた言動になっていることはないでしょうか。

「しんぢつにたすけ一ちよの心ならなにゆへいでもしかとうけとる」

人だすけの心が真に定まっていれば、たとえ言葉にすることができなくても、親神様はしっかりと受け取りくださいます。実に力強いお言葉です。

数カ月後、再び牛乳パックを指さすと、二男は「ぎゅうにゅう」と、はつきり言えました。子供のささやかな成長こそ、親にとっては大きな楽しみです。

（さ）

「栄光の軌跡」を写真展示

天理大ラグビー部優勝記念



展示会場の様子を、動画でご覧いただけます



天理大学ラグビー部の第57回「全国大学ラグビーフットボール選手権大会」初優勝を記念し、3月26日から「天理大学ラグビー部優勝記念展示会」が天理大創設者記念館で開催されている(写真)。

会場には、日本一に輝いた同部の「栄光の軌跡」を紹介する写真パネルをはじめ、優勝トロフィーや決勝戦で使用されたラグビーボールなどが展示されている。

開催日は、4月16、18、19、23、26の各日。展示時間は、いずれも午前10時から午後4時まで。問い合わせは同大学長室(0743-63-9012)へ。



舞台裏の様子を、動画で無料公開中



天理大学雅楽部(東馬場郁生顧問)は3月25日、天理市民会館で第51回「天理公演」を開催、217人が訪れた。「想思千二十年・源氏物語 XVI 御法の巻 祈り」と題した今回は、管絃『酒胡子』『蘭陵王』、謡物・神楽『其駒』、舞楽『落躰』『胡飲酒』の全5曲を披露した(写真)。

公演の様子は、YouTube上に期間限定で有料配信する予定。詳細は同部まで。

Eメール=gagakubu@gmail.com
URL=http://gagaku.biz/tenri/

天理大雅楽部「天理公演」

演奏に祈りを込めて

視点

脱炭素社会への課題

昨年10月、菅総理は所信表明演説で「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします」と表明した。

は現実的に難しい。よって、カーボンニュートラルでゼロにするというのだ。このカーボンニュートラルとは、CO2を可能な限り削減したうえで、排出せざるを得ない分を「吸収」や「除去」により、全体として差し引きゼロにすることを意味する。たとえば、大気中のCO2の吸収量を植林で増やしたり、CO2を直接回収して地中に

貯留したりする。鉄鋼業界で用いる石炭の代替として水素を利用したり、CO2を廃コンクリートに用いたりすることも、その例である。大幅な排出削減の努力はもちろん重要だが、CO2を分離・回収するような革新的技術の開発を加速させる必要がある。そのためには産業構造や経済社会の変革も伴う。もはや一国・一企業では不可能

で、国際的な産業全体の転換や、世界市場での大規模投資による環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)を通じて行う「ESG投資」が今後、世界中で拡大していくだろう。地球温暖化による気候変動は、私たちの生命や生活を脅かしており、各国が喫緊の課題として挙げている。世界の120カ国以上が「2050年カーボンニュートラル」の目標を掲げており、地球規模での取り組みは必須となる。

この世は「神のからだ」と教えられる。そこではCO2のみならず、火水風の守護による働きも循環している。それが「天の理」である。言い換えれば、気候変動問題の解決手段の一つであるカーボンニュートラルは、循環という「天の理」に沿って進めれば、おのずと「成ってく」に違いない。こう考えると、親神様は未来の世界の動きをすべて見通されており、脱炭素社会への課題も、世界中が協力して知恵を出し合うことを望まれる「親のてびき」と言えるのではないか。(早)

ひきこもりの妹を励ましたい

回答者 西村 和久 一筋分教会長 「憩の家」事情部講師



Q 昨年、大学卒業を控えた妹が、就職予定先の旅行会社から、経営悪化を理由に内定を取り消されました。妹は部屋に引きこもるようになり、現在も無気力な状態が続いています。妹が前を向けるように、どんな声をかければよいでしょうか。(20代男性)

身上・事情などに関する悩みをお寄せください。個人情報厳守いたします。
〒632-8686 天理郵便局私書箱30号 天理時報「人生相談」係
●ファクス=0743-62-0290 ●Eメール=jihou@tenrikyo.or.jp

A 心配ですね。妹さんにはなんとか前を向いて歩き出してもらいたいですね。家庭の中に何か問題があれば、家族はその問題に直面している当人が良い状態へ戻るようにと願います。時には叱ったり励ましたりして、当人を変えようします。でも、そもそも問題の捉え方が違うのかもしれませんが。変わらなければならないのは、家族全員なのかもしれません。もし、そうで

あれば、妹さんは、知ってか知らずか問題を提起し続け、1年近くも頑張っていることとなります。このたびの新型コロナウイルス感染拡大に際して、きっと私たちには、いま立ち止まって考えなければならない、変えなければならない何かがあるのだと思います。そこで、あなたの取るべき態度ですが、『稿本天理教教祖伝』に、教祖が惰け者の作男に「御苦労さん」と優しい言葉をかけて根気よ

く導かれたお話があります。それは、励ますでも叱るでもなく、かといって見捨てることもなく、ありのままを評価されたということかもしれません。心を見つめ、可能性を信じてくださったからこそ、その作男も自ら気づいて、のちに人一倍の働き手となることができたのだと思います。妹さんには、励ますよりも労いと感謝の気持ちを伝えられてはいいかがでしょうか。



仕立て場の壁には、新貝さんが布団作りをするうえで大切にしている言葉がびっしりと書かれている

「日本一の布団職人」がつくる人びとの笑顔

新貝さんは、ハツとした。「睡眠時間は人生の3分の1を占めるのに、布団へのこだわりがないために、疲れが取れないなどの悩みを抱えている人は少なくない。私が良い布団を作ること、睡眠中に今日の疲れを取り、癒やされリフレッシュして、また明日も笑顔で過ごせる人が増えれば、私にできるおたすけにつながるのではないかと、私なりのやり方で、人さまに喜んでもらう。」

以後、新貝さんは綿の種類や配合の研究、仕立ての技術に、さらに磨きをかけた。また、お客さんの自宅へできるだけ足を運んで睡眠時の悩みを聞き取り、腰痛に苦しむ人は敷き布団の腰の部分の綿を厚くしたり、高齢の人が寝苦しくしないように掛け布団の襟元を軽くしたりするなど、細部まで徹底的にこだわった。「だれにも出来ないことをだれにも出来ないくらいやる!!」

そう仕立て場の壁に綴るように、決して手を抜かず、お客さんの笑顔を求めて、自身の持つ100割の力で布団を作り続けた。布団を購入した人からも「これまで掛け布団がずれ落ちて熟睡できなかったが、新貝さんの布団はずれることがなく、初めてぐっすり寝られた」など、喜びの声が寄せられるようになった。



細部までこだわり抜いて木綿布団を仕立てる新貝さん



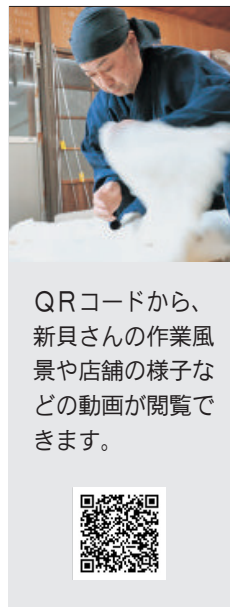
「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。



細部までこだわり抜いて木綿布団を仕立てる新貝さん

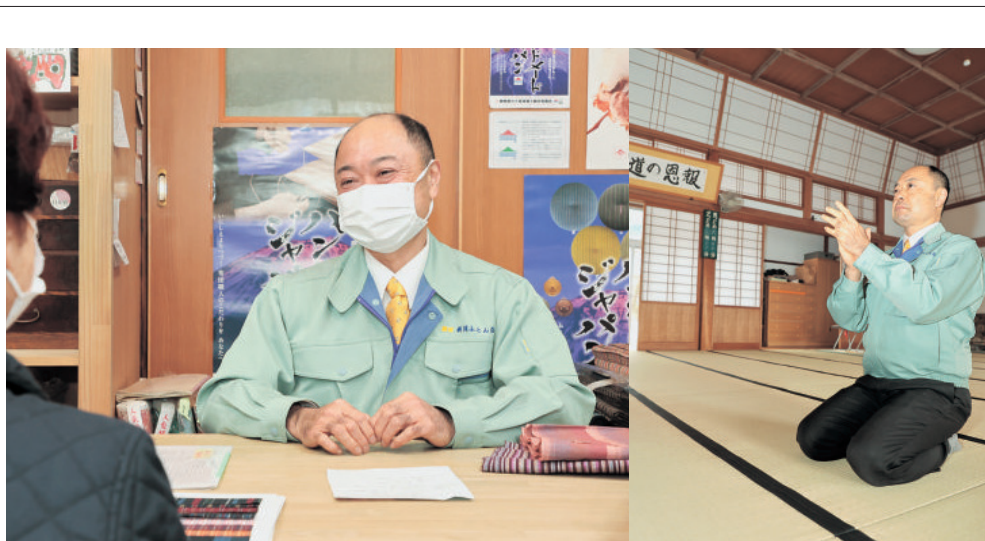
静岡市の小さな港町にある新貝ふとん店は、新貝さんと母の登起江さん、パート従業員3人で営む。販売店舗のほか、1階に綿工場2階に仕立て場がある別棟を構える。接客もこなす新貝さんは、作業着にネクタイ姿で木綿布団の特徴を説明する。木綿布団は次のような手順で作られる。まず工場での準備作業として、硬さや長さの異なる木綿を配合し、専用の機械で混綿のシートを作成する。次に仕立て場へと移り、

約20枚のシートを何層も重ね合わせていく。重さや厚さなど細部までこだわり抜き、納得のいく状態になるまで数時間かけて調整を重ね、最後に表面を生地で包んで完成となる。「数種類ある木綿の細かい配合の比率が布団の出来に影響する」と、こだわりの口にする。戦前から90年以上続く新貝ふとん店。工場には、代々受け継がれてきた機械が並ぶ。機械には、祖父や父が仕事に取り組みうえで大切にしていた精神が文字として刻まれている。



QRコードから、新貝さんの作業風景や店舗の様子が閲覧できます。

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。



新貝ふとん店の社員は3人。店主自ら店頭立ち、笑顔で接客に当たる

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。

「現代の名工」に選ばれたなど、その匠の技に高い評価を受ける「日本一の布団職人」がいる。「綿匠 新貝ふとん店」3代目店主・新貝晃一郎さん(56歳・興津分教会ようばく・静岡市)。新貝さんが手がける木綿布団は、すべてオーダーメイド。お客さんの体格や生活スタイルに合わせて数種類の綿を配合し、世界に一つだけのオリジナル布団を仕立てていく。その仕事ぶりがNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されると、全国から注文が殺到しているという。布団作りの先にある、お客さんの笑顔をつくりたいと話す、綿の匠の思いとは――。

おわび・訂正

3月28日号3面のラジオ「天理教の時間」の放送日時に誤りがありました。正しくは下記の通りです。おわびと訂正いたします。

道友社

ラジオ「天理教の時間」朗読放送

新シリーズ「家族のハーモニー」4月～

朗読放送の第3弾は、白熊繁一氏(中干任分教会長)のエッセー「家族のハーモニー」から、選りすぐりのエピソードをお届けします。第1回「親」としての幸せ」は4月24日・25日に放送予定。これから1回のペースでお送りしていきます。

なお、過去の放送分は天理教ホームページ「信仰している方へ」内の「ラジオ天理教の時間」で随時公開中。ページ内にある「家族円満」専用プレイヤーは無料でご利用いただけます。

インターネット「聴いて味わう ラジオ天理教の時間」
https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/radio/

webみちの動き2020

本紙から限定公開 ダウンロード可能

このたび道友社では、その年の教内の動きをまとめたDVD「みちの動き」の販売を取りやめ、ウェブ上で「webみちの動き」と題した動画を、随時、限定公開します。「webみちの動き」は、本紙のQRコードからのみ視聴できます。また、動画をダウンロードして、教会行事などの際に活用することも可能です。

主な内容

- ・立教183年 本元元旦祭
- ・被災隊「令和2年7月豪雨」の被災地に出動
- ・全教一斉ひのきしんデー など
- ・視聴時間：約45分
- ・ダウンロードサイズ：約3GB

※右記QRコードからのみ視聴できます。ページ内のダウンロードアイコンをクリックすると動画を保存できます。

道友社

「時報歌壇・時報俳壇」リニューアル

●募集要項のお知らせ

本紙の紙面刷新に伴い、今年度から「時報歌壇・時報俳壇」もリニューアルします。歌壇・俳壇ともに、掲載日程は、5月、8月、11月、翌年2月の年4回となります。俳壇については、5月は春の季語(2・4月)、8月は夏の季語(5・7月)、11月は秋の季語(8・10月)、2月は冬の季語(11・1月)の俳句から選句します。歌壇に関しては、特に規定はありません。今年最初の掲載は、5月中旬を予定しています。4月末までの到着分から選句します。5月以降の締め切りについては、随時、告知いたします。

投稿形式は、これまで通り、無地のハガキに俳句3句、または短歌3首までお書きいただき、お名前(ふりがな)、電話番号を付記のうえ、下記の住所宛てにお送りください。そのほか、メールでの投稿も受け付けています。

〒632-8686 天理郵便局私書箱30号「時報俳壇」または「時報歌壇」係
Eメール= jihou@tenrikyo.or.jp

ホームページ

最新情報は天理教HP「お道のニュース」から

教内の行事案内やニュースをネット上で一元化。「お知らせ」「親子ニュース」「各地ニュース」の3つのカテゴリから、最新の情報をご覧いただけます。速報性、検索性が高く、気になる記事が見つかります。

天理教ホームページ「お道のニュース」

酒害相談 受付変更のお知らせ

「天理教酒害相談室」(布教部社会福祉課内)では、4月1日から、酒害相談の受付を変更いたしました。

●電話受付 0743-62-8230
受付時間 平日 9:30~12:00

※ただし、年末年始(12/28~1/4)、お節会期間、こともおちばがえり期間、本部祭典日およびその前後日は、受付を休止いたします。

●メールフォーム
受付時間:24時間
QRコードまたは
布教部ホームページへ
https://fukyo.tenrikyo.or.jp/top/

修養科の四季



3年前、母にステージ4の胆管がんが見つかりました。日ごとに病状が悪化する中も、喜んで日々を通る母。口癖は「きちんと神様に向き合って尽くせば、神様はすべて結構にしてくださる」でした。

その言葉を胸に、私も母のたすかりを願っておさづけを取り次ぎ、大教会へ日参するなど、自分なりに神様の思いに沿えるよう、精いっぱい心を尽くしました。

昨年2月、母は家族に囲まれながら安らかに出直しました。痛みのない穏やかな最期を迎えられたことを「ありがたい」と思う一方で、「なぜ全快しなかったのだろう。私の真実は、神様に届かなかったのかな……」

出直した母の口癖 「すべて結構」を支えに

第948期 吉澤はつえさん26歳・東京都足立区・興野分教会所属



始業式を終え、希望を胸に本部神殿へ向かう修養科生

という思いが、心に引つかかっていた。1カ月後、1年前に「一緒に志願しようね」と母と約束した修養科に入りました。

十分に頂いていた ご守護に気づき

「前を向かなければ」という焦りを感じながら1カ月が過ぎると、2カ月目に不眠や肩の痛み、人間関係の悩みなど、次々と身上・事情が重なりました。そんなとき、教養掛の先生から「お母さんが出直す前に、同じところの痛みを訴えていなかったか？」と尋ねられ、ハツとしました。

思い返せば、「母が少しでも楽になるよう、私に痛みを分けてください」と、おさづけの取り次ぎの際に祈っていたのです。思案する中で、母の世話取りに当たっていた当時の私ではなく、いまの私に、あらためて身上・事情という節を見せることで痛みを分けてくださっているのではないかと、悟ることができました。

これまで、神様と心から向き合えていなかったことを反省し、すぐに教祖殿へ向かいました。そしてご存命の教祖の前で、感謝とともに、それまで抑えていた悲しみも含めて、泣きながら思いの丈をお伝えすることができたのです。

以来、授業や周囲の先生のお話しなど、自らの通り方を振り返る機会があるたびに、神様に心を沿わせることを意識するようになり、周囲の人たちのたすかりを強く願うようにもなりました。人のために祈る中で、自然と焦りや葛藤から解放されていきました。

修了式が迫ったある日、久しぶりに、母の最期の姿が頭をよぎりました。「ありがとう」と何度口にする喜びに満ちた表情。味覚障害が一時的に治まり、大好きな甘い物を美味しく食べられたこと、お世話になった人にお礼を伝える姿、私と手をつなぎながら苦しまずに逝ったこと……母はもう十分にご守護を頂いていたのです。

「神様は、母を結構にお連れ通りください。いま、私の心も救ってください。母の言う通り、神様に心から向き合い、人のために心を尽くして行動すれば、すべて結構にしてください……」

思えば亡き母は、修養生活の間も悩み苦しんでいる私を、ずっと側で見守ってくれていたのかもしれない。考えていることの一つひとつに、うんうんと頷き、時には一緒に泣いてくれたいた胸がいっぱいになりました。

修了後、新しい仕事に就くなど、自分なりの一歩を踏み出しています。これからは身近な人のたすかりを願うとともに、いつか子や孫に信仰の素晴らしさを伝えて、母が残してくれた想いを受け継いでいきたいです。

よるずの

美の葉



胸の奥が 温かくなる言葉たち

作家
澤田 瞳子
Sawada Toko

の中で実際の放送に耐える量の意であるし、能楽界の「作物」は舞台上の簡便な装置を意味する——というように、それぞれの社会で用いられる語は似ているようであり、少しずつ異なる。

一方で死語という言葉に集約される如く、一部の言辭は時代の中で忘れ去られ、代わりにまた新たな語が生まれる。その有為転変は現代社会の忙しさを反映してあわただしいが、なかには本来の意味から脱却し、がらりと生まれ変わる言葉もある。その一つとして注目しているのが、「嵐」だ。広辞苑を引けば、「荒く激しく吹く風」「暴風雨、台風」などと

説かれるこの語句は、「万葉集」にも登場する古い言葉。とはいえ現代では、低気圧や台風、前線など、科学的な説明を含んだ表現にこの語は簡単に置き換えられてしまふ。顧みれば私自身、最近、本来の意味で「嵐」と言ったかたは考え込んでしまうほど、昔ながらの「嵐」は今や遠い存在だ。

では現代人がこの言葉をどんなタイミングで耳にし、また語るかといえば、それはやはり昨年末に活動休止をしたアイドルグループ「嵐」の名としてではあるまいか。つまり長らく日本人の日常用語であった「嵐」は、その存在意義を近代科学によって奪われた後、新

たな固有名詞の地位を得たわけだ。もし、かのグループが存在しなければ、嵐は五月雨や春雨などと同様、利用頻度の低い古語になっていたかもしれない。「言葉は生き物」とよく言われるが、ただ何かを意味するのみならず、時代の知識や嗜好までをコンパクトに物語り、更に個々人の環境をも加味したそれは、生き物というより手作りのお弁当にどこか似ている。

だから私は、知らない語に接すると、その方の作った食事を差し出されたようで、ぽつと胸の奥が温かくなる。そして今度はどんな味に出会えるのかと、次なる出会いが待ち遠しくなるのである。

師弟そろって バトン日本一 に輝く

天理高バトン部OG 上田おていさん・山下ももかさん
同部コーチ 鈴木 治さん



天理高バトン部のOGとして初の日本一に輝いた上田さん(左)と山下さん(右) ペア

天理高校バトントワリング部OGの上田おていさん(21歳・教会本部ようぼく・滋賀県草津市)と、山下ももかさん(21歳・鹿玉分教会ようぼく・同)は先ごろ、大阪市の丸善インテックアリーナ大阪で開催された「第45回全日本バトントワリング選手権大会」(主催=一般社団法人日本バトン協会)ペア・シニアI部門に出場し、初優勝を果たした。また、二人の「師匠」である同部コーチの鈴木治さん(25歳・愛町分教会愛清布教所ようぼく・京都市)も、同日行われた「第35回世界バトントワリング選手権大会日本代表選考会」フリースタイル個人・男子シニア部門を1位通過。師弟そろってバトン日本一に輝いた。

もの・かりものの教えを説き聞かされ、元気な体に感謝できるようになった。練習がなくても、ご守護に感謝する気持ちを忘れず、ここまで続けることができた」と話す。

一方、教会長子弟の山下さんは、3歳からバトンを握っている。同部で上田さんと出会い、3年間を共に過ごし、現在もペアを組む。

鈴木さん、上田さん、山下さんの3人は、日本バトン界の第一人者・稲垣正司氏が主催するチーム「GENESIS」に所属。鈴木さんをはじめ同チームのメンバーは、2016年の設立以来、数々の世界大会で優勝を果たしている。

上田さんと山下さんは天理高を卒業後、鈴木さんの推薦で同チームに加入。ペアの技を3年間磨き続けた結果、今大会で見事に初優

勝に輝いた。

鈴木さんは「二人のバトンの絡み合いがマッチしていた点が高く評価されたと思う。高校時代から、二人が「努力できる逸材、だと分かっていた。期待通り、凄まじい努力を重ねた結果の優勝だと思う」と話す。

同部の阿部祥子部長は「部から日本一の選手が出たのは創部初の快挙。とてもうれしく思う」と誇らしげに語った。



世界選手権出場を決めた鈴木さん

山下さんは「二人で本部神殿に参拝することを心がけ、大会前日と翌日にも、おぢばへ足を運んだ。予想もしなかった優勝を経験させていただき、感謝の気持ちでいっぱい」と話す。

一方、これまで世界の頂点に9度立っている鈴木さん。現在、世界大会出場に向け、第一人者の技にさらに磨きをかけている。

鈴木さんは「練習中につらい

ことがあっても、布教所の皆さんの顔を思い浮かべて乗り越えてきた。日ごろから心がけていることは、ごみ拾い。大会でバトンを「落とさない、ように、「落ちている、ごみを拾う。普段からごみに気をつけながら生活することで、ようぼくとしても、たすけを求める周囲の人たちの異変に気づくことができると思う」と語った。

ごみ拾いを欠かさず

天理市出身の上田さんは、小学5年生のときバトンを始めた。天理高バトン部では、全国大会で3年連続金賞を受賞し、3年時にはキャプテンを務めた。

上田さんは「両親から事あるごとに、かし

訃報

岩崎泰子さん(93歳・浅草大・八弘分教会前会長) 昨年10月25日出直された。埼玉教区。
前田静子さん(97歳・芦津大・津雲分教会前会長夫人) 3月7日出直された。島根教区。
片野道行さん(86歳・梅谷大・梅真分教会長) 3月16日出直された。北海道教区。
野間せつ子さん(76歳・網干

大・網伊和分教会前会長夫人) 3月17日出直された。兵庫教区。
窪建子さん(90歳・御津大・長居分教会前会長夫人) 3月18日出直された。大教会婦人を務めた。大阪教区。
寒河江道明さん(81歳・那美岐大・潮見台分教会長) 3月18日出直された。北海道教区。
田中義敬さん(74歳・高安大・勢川分教会前会長) 3月18日出直された。旧伊丹支部青年会委員長、同少年会育成委員長を

務めた。兵庫教区。
新村智恵子さん(97歳・嶽東大・三島分教会前会長夫人) 3月19日出直された。大教会役員婦人、伊豆支部婦人会主任を務めた。静岡教区。
鈴木あきよさん(91歳・蒲生大・尾知分教会前会長夫人) 3月19日出直された。愛知教区。
清武八寿美さん(85歳・南大・夜須野原分教会前会長夫人) 3月20日出直された。福岡教区。

教祖誕生祭 交通情報は天理教HPへ

教祖誕生祭の交通規制、駐車場案内、臨時列車(近鉄・阪神、JR)等の最新の情報は、天理教ホームページ内の「交通情報」でご確認ください。



https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/traffic_information/

お知らせ 輸送部

好評発売中

『生きる言葉―天理教教祖の教え』(道友社文庫)のなかから31篇を掲載。教祖を身近に、日々の生活に勇み心を。

好評につき第2弾!

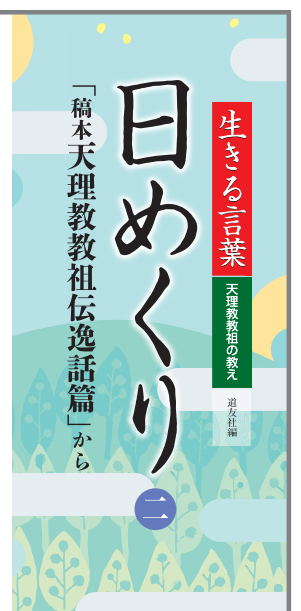


定価770円 [本体700円]

壁掛け・卓上の両方へ使えます
サイズ=255×148mm



道友社 Webストア https://doyusha.net



手嶋龍一の グローバルアイ①



米中対立のはざままで

台湾海峡のうねりが徐々に高まっている。米中の対立が厳しさを増し、国際政局の波がここに及んでいる。一片の外交文書だけで地域の平穏を保てるわけではない。それでも1972年に米中が交わした「上海コミュニケ」は、台湾と中国大陸を隔てる海峡を半世紀にわたって波穏やかに保ってきた。

米国政府は「台湾問題の平和的解決を求めるとクギをさし、「一つの中国政策」を支持すると述べて、米中の安定した関係の礎を築いたのだ。だが、中国政府はその後台湾の武力解放の主張を取り下げず、一方のバイデン政権も民主党の新綱領から「ひとつの中国を支持」というくだりを削ってしまった。米中和解の土台が次第に崩れ始めているのである。

バイデン政権の発足後、アラスカの地で初めて行われた米中の外交協議は、両国の対立が険しくなっていることを際立たせた。プリンケン国務長官とサリバン国家安全保障大統領補佐官は、楊潔篪政治局員と王毅外相に激しい口調で詰め寄った。米側はウイグル、香港、台湾への中国の攻勢を非難し、中国側は「内政干渉だ」と一歩も譲らなかった。米中ともに、互いの国内に強まる反中、反米の感情を意識し、敢えてテレビカメラの前で1時間にわたってやり合ったのだ。

バイデン政権の外交チームはアラスカ会談に先立ち、日本で「外務・防衛閣僚協議」を行い、韓国も訪れている。対中包囲網を敷いたうえでアラスカ会談に臨む周到さだった。まず先制攻撃に出て、その後中国側を対話の土俵に誘い込もうとしたのだろう。だが、中国側がアメリカ側の読み通りに動く保証はない。

菅総理は4月ワシントンに飛び、バイデン大統領と初の日米首脳会談に臨む。台湾海峡で不測の事態が起きれば直ちに日本の安全が脅かされる。台湾有事の勃発を外交の力で未然に防ぎ止めることこそ日本の責務だ。

Profile
外交ジャーナリスト・作家。NHKワシントン支局長として9・11テロ事件の連続中継を担当。代表作に『ウルトラ・ダラー』『スギハラ・サバイバル』、『外交敗戦』、最新作に『鳴かずのカッコウ』など多数。

入選作品

教祖が十二下りのお歌に節付くと振付けをされたとき、「これは、理の歌や。理に合わせて踊るのやで。ただ踊るのではない、理を振るのや」（『稿本天理教祖伝』）と仰せられた。けれども、その「理を振る」というお言葉の意味するところが、物心ついてからしばらくは、さっぱり分からなかった。

26歳のとき、映画館で『ジュラシック・パーク』を観た。エキサイティングな映像もさることながら、劇中で「北京で蝶々嵐が起きる」という「バタフライ効果」について語られたセリフが、なぜかずっと頭から離れなかった。

「理を振る」という思案

このように理が吹く。同時に足を踏む。そこからわずかな風が舞い上がるようにして理が吹いていく。私たちは「神のからだ」に懐住まいをしていくため、この世のあらゆるものをつなげている。吹いた理は遠く離れた病人の枕元へ瞬時に到達し、その人の身体を優しく包んでくれる。願い人の心が誠実であれば、神様がその心に乗って働いてくださり、病人はきつと、たすかる。

50歳のとき、「脳梗塞」になった。教会で、信者さん宅で、また大教会や教務支庁でも、たくさんの方がお願いづとめを勤めてくださった。いま思い出しても、感謝の気持ちで胸がいっぱいになる。おかげで、わずかに2週間で退院。一時は左腕に痺れが残る、真つすぐ歩くことさえ困難だったが、いまでは後遺症も全くない。

「理を振る」という言葉を自分心丈夫に思う。（要旨）



テーマ

「かしもの・かりもの」を心に

上田秀昭

54歳・京伯分教会長・鳥取県米子市

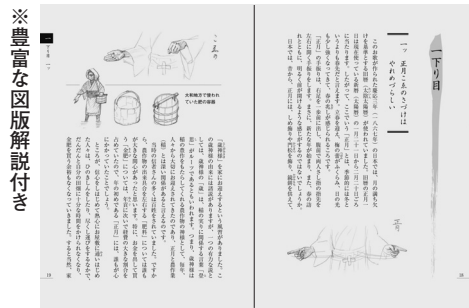
道友社の新刊書

天理教道友社

お近くの書店か道友社へ直接お申し込みください。

注文受付 0743(63)4713 03(3917)6501 [東京支社]

Webストア <https://doyusha.net>



定価1,760円 [本体1,600円] A5判並製/356ページ

読書会の皆様へ——本書は定期配本です。

5月1日発売!! ※道友社の販売所では4月17日から販売します。

こころ陽気に世界たすけへ 教祖のひながたや当時の時代背景に言及しながら、お歌と手振りに込められた親心をたずね、成人への道をたどる。

「十二下りのてをどり」は、一人ひとりの信心を育み、人々の心を陽気にしただけではありません。「かぐらづとめ」とともに、まさに世界たすけの「つとめ」として、人々によって熱心に習得され、命懸けで勤められてきたのです。

（「はじめに」から）

十二下りのてをどりを身近に 深谷太清 Takahara Taketoyo やまごよぶき分教会長